

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成27年度 講義要目(シラバス)

科目名	情報通信先端演習
英文名	Advanced Topics on Information and Communication
学部学科	先端科学技術研究科 情報通信メディア工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	松本 隆男

目的概要	<p>[教育目標] 通信システムの技術分野について調査すると共に、幅広い知識および技術を修得し、その将来形態についての展望を得る。</p> <p>[達成目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 先端技術の分野別整理 (2) 基本的原理の理解 (3) 先端技術の開発経緯の理解および従来技術との比較 (4) 先端技術の適用分野および適用可能性の整理 (5) 先端技術の将来展望
教科書名	<ol style="list-style-type: none"> (1) IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会などの学会誌・論文誌。 (2) 技術雑誌、技術新聞 (3) Webサイトなどから得られる情報
参考書名	別途指示
評価方法	課題に関し作成したレポートの内容、および報告会におけるプレゼンテーション内容に基づいて評価する。
テーマ・内容	<p>以下の段階に分けて、通信システムの技術分野における先端技術の調査、検討を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 担当教員と相談の上、対象とする先端技術の大きな洗い出しと整理を行う。 (2) 上記(1)で抽出した各項目に関し、自主的に詳細な調査すると共に、必要に応じて実体験を行う。 (3) 上記(2)を進める中間段階で、担当教員にそれまでの検討内容の概要報告を行い、その後に向けて検討計画の修正をする。 (4) 上記(3)に沿って、先端技術の調査をさらに進め、必要に応じて実体験を行う。 (5) 最終的に、上記(1)～(4)の検討内容をまとめたレポートを作成すると共に、他の受講生を含めた報告会で調査内容の発表、報告を行う。
E-Mail address	matsumoto@c.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	<ol style="list-style-type: none"> (1) 調査、検討は自主的に行う。 (2) 各自の専門分野だけでなく、通信システムに関わる先端技術分野を対象とする。 (3) 出来るだけ数多くの文献等を調査して客観性を確保する。 (4) 報告書の作成においては図や表の利用、平易な文章表現により、内容を分かり易くする。